

入試情報 INFORMATION

2018年度入学試験より インターネット出願を導入します。
詳しくは本校ウェブサイトをご覧ください。

2018年度入学試験について

	推薦入試	帰国生入試	一般入試
募集人員	男女合わせて約70名	男女合わせて約30名	男女合わせて約80名
出願資格	<p>1 本校を第一志望とし、合格の際は入学を確約できる者。</p> <p>2 2002（平成14）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生し、2018年3月に国内の中学校を卒業見込みの者。</p> <p>3 3年2学期の9教科の合計評定（5段階評定）が次の条件を満たしていること。 男子38以上、女子41以上、「2」以下の評定がないこと。</p> <p>※3年の2学期の評定とは、12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。</p> <p>4 3年次の欠席日数が5日以内であり、3年間の欠席日数の合計が15日以内であること。</p> <p>5 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</p> <p>※私立の中学校で高校を併設している学校および中等教育学校（国公立・私立）の生徒は受験資格がありません。</p> <p>※上記の出願資格条件は、推薦入試合格を確約するものではありません。</p>	<p>1 海外在住期間が引き続き1年以上にわたり、現地校、国際校、または全日制日本人学校に在籍していた者で、帰国後2年10カ月以内（2018年度入試の場合、2015年6月以降の帰国）であること。</p> <p>※なお、本校への入学予定日（4月1日）を資格算定の基準とします。</p> <p>※本人が単独で海外留学した場合は該当しません。</p> <p>2 2001（平成13）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生の者で、次のA、Bのいずれかに該当する者。</p> <p>A 2018年3月に中学校を卒業見込みの者または2017年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>B 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <p>3 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</p>	<p>1 2001（平成13）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生の者で、次のA、Bのいずれかに該当する者。</p> <p>A 2018年3月に中学校を卒業見込みの者または2017年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>B 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <p>2 保護者のもとから通学可能な者（本人のみの下宿、アパート、会社等の子弟寮からの通学は認めておりません）。保護者は父もしくは母が原則ですが、やむを得ない理由で不可能な場合は、東京またはその近辺に一家計を立て（就学中の兄・姉等は不可）、学校との連絡が容易にとれ、直ちに来校できる、親権者と同等の責任を持つ在京保証人が必要であり、入学後はその家庭から通学していただくことを条件といたします。</p>
選抜方法	適性検査・面接・書類審査	適性検査・面接・書類審査	国語・数学・英語（リスニングも含む）・書類審査
出願登録・受験料支払	インターネットのみ	インターネットのみ	インターネットのみ
出願書類受付期間	【郵送】1月15日☎～1月16日☎ 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月17日☎ 10:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月9日☎～1月10日☎ 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月11日☎ 10:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月25日☎～1月26日☎ 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月29日☎ 10:00～15:00 (時間厳守)
入学試験日	1月31日☎	1月31日☎	2月12日☎・☎
合格発表・手続書類交付日	〈校内掲示〉 2月2日☎ 10:00～10:45 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定	〈校内掲示〉 2月2日☎ 10:15～11:00 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定	〈校内掲示〉 2月14日☎ 10:00～11:00 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定
入学手続日	2月5日☎ 12:00～13:00	入学手続Ⅰ 2月5日☎ 14:00～15:00 入学手続Ⅱ 2月17日☎ 13:00～14:50	入学手続Ⅰ 2月15日☎ 14:00～15:00 入学手続Ⅱ 2月17日☎ 13:30～14:50

入試結果

	推薦入試						帰国生入試						一般入試					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率		
2017年	男女合わせて約70名	男子	67	66	34	1.9	男女合わせて約30名	男子	95	82	36	2.3	男女合わせて約80名	男子	343	285	77	3.7
		女子	123	120	40	3.0		女子	143	121	51	2.4		女子	510	449	79	5.7
		計	190	186	74	2.5		計	238	203	87	2.3		計	853	734	156	4.7
2016年	男女合わせて約70名	男子	80	78	34	2.3	男女合わせて約30名	男子	114	91	38	2.4	男女合わせて約80名	男子	331	275	93	3.0
		女子	115	114	40	2.9		女子	139	117	47	2.5		女子	484	415	131	3.2
		計	195	192	74	2.6		計	253	208	85	2.4		計	815	690	224	3.1
2015年	男女合わせて約70名	男子	46	43	34	1.3	男女合わせて約30名	男子	88	77	35	2.2	男女合わせて約80名	男子	257	204	85	2.4
		女子	98	97	39	2.5		女子	112	95	51	1.9		女子	432	364	89	4.1
		計	144	140	73	1.9		計	200	172	86	2.0		計	689	568	174	3.3

学費一覧

※下記学費等は事情により改定されることもありますので、あらかじめご承知おきください。
※納付方法は学期ごとの分納となります。

(2017年4月入学生)

	1年	2年	3年
入学金	320,000		
施設設備料	190,000	190,000	190,000
授業料	600,000	600,000	600,000
実習料	5,000	5,000	5,000
保健料(消費税込)	6,000	6,000	6,000
冷暖房料	12,000	12,000	12,000
後援会会費	22,000	22,000	22,000
生徒会入会金	5,000		
生徒会会費	12,000	12,000	12,000
修学旅行積立金	80,000	65,000	
卒業積立金			40,000
合計	1,252,000	912,000	887,000

入学初年度の費用としては、次のようなものがあります。

※一般入試・帰国生入試の入学手続に際し、施設設備料に限り、納付を延期することができます。

(2017年4月入学生)

入学前 (入学手続き時)	入学金	320,000
	施設設備料	190,000
	合計	510,000
入学後 (各学期ごと3回分納)	授業料	600,000
	実習料・保健料・冷暖房料	23,000
	後援会会費	22,000
	生徒会入会金・会費	17,000
	修学旅行積立金	80,000
合計	742,000	
その他の 購入費用	制服	40,000～60,000
	教科書	22,000～24,000
	体育着・シューズ等	38,000～46,000

奨学金制度

人物・学力ともに優れていながら経済的な補助を必要とする生徒に、東京都および各県の高校奨学金、独立行政法人日本学生支援機構大学予約奨学金等の奨学金制度があります。

本校としても次のような独自の奨学金制度を設けています。

給付奨学金	
青山学院高等部奨学金 (授業料減免補助)	<p>高等部の退職教職員・同窓会などからの寄付をもとにしたもので、次の2種類の内容に分かれています。</p> <p>1. 給付奨学金 経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給します。</p> <p>2. 奨励賞 実用英語検定試験の合格者、読書感想文・感想画コンクール入賞者、また、クラブ活動など各分野における都道府県大会等において上位入賞するなど特別活躍した生徒に贈られます。</p>
青山学院スカラシップ奨学金	青山学院維持協力会および青山学院校友会から経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給するもので、内容的には上記の高等部奨学金の1.に準じます。
青山学院万代奨学金 高等部特別奨学生	本学院の学友であり、理事でもあった故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、学業成績、人物ともに優れた生徒若干名に顕彰のため奨学金を給付しています。
友情資金に基づく奨学金	生徒会で月1回、生徒の自発的意志によって献金されたものを、生徒会員の中で経済的補助を必要とする生徒に給付しています。
貸与奨学金	
青山学院万代奨学金	故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、東京都および各県の奨学金制度の資格基準に準じて貸与しています。
授業料軽減制度	本校の制度ではありませんが、授業料軽減制度には次のようなものがあります。
東京都私立高等学校等授業料軽減助成事業	保護者と生徒がともに東京都内に居住しており、東京都内の私立高等学校等に通学している生徒の保護者に、その経済的負担を軽減することを目的として、授業料の一部を軽減する制度です。

入試 Q & A

Q&A

推薦入試

Q 適性検査の内容を教えてください。

A 本校における学習に必要な基礎学力を確かめるためのもので、国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3つの科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）各教科の問題を20分程度の目安で解くように考えると良いでしょう。特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

Q 面接はどのような形式で行われるのですか。

A 昨年度は10分程度の個人面接でした。

Q 一般入試にも出願できるのでしょうか。その場合、優遇措置はありますか。

A 一般入試の出願もできます。一般入試において補欠となった場合は優遇する場合があります。また、先に行う推薦入試に合格し、入学金および施設設備料を納付した場合、推薦入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

Q 自己推薦書について教えてください。書けるのは、学校内の活動に関してだけですか。

A 基本的には中学校における生活がどのように充実したものであったかを見せられますが、校外のものを書いても差しつかえありません。地域のボランティア活動やスポーツ活動など、中学時代に打ち込んだものについて書いてください。

Q 英検や校外の活動での優秀な成績については考慮されますか。

A 考慮する場合があります。英検などについては調査書の「特記事項」に、またスポーツその他の活動に関しては「特別活動の記録」あるいは「特記事項」の欄に書いてください。

Q 3年2学期の評定とは、2学期だけの成績をさすのですか。

A 1学期からの成績を総合した12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。2学期制の学校においても、12月時点で中学校が教育委員会などへ提出する評定です。

Q 9教科の評定の合計が男子38（女子41）も45と同じに扱うのですか。

A 評定の合計の高いほうが多少有利になる場合もあります。

帰国生入試

Q 適性検査の内容を教えてください。

A 国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）国語と数学に関しては、本校における学習に必要な適性と中学校課程修了程度の基礎学力を確かめるためのもので、英語のみ、少々難易度の高いものとなっています。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

Q 面接はどのような形式で行われるのですか。英語での質問はありますか。

A 20分程度のグループ面接です。志願者数名を一つのグループにして行われます。面接時の質問は基本的には日本語で行われますが、英語圏の現地校やインター校出身者には英語による質問があります。ただし、英語力を問うことが目的の面接ではありません。

Q 英検の資格は、点数に加算されますか。

A 加算しません。

Q 出願書類にはどのようなものがありますか。

A 入学願書等以外に、帰国生入試の出願には次の書類が必要です。

- (1) 国内の中学校または日本人学校を卒業・卒業見込の者は、中学校が作成する調査書
- (2) 海外の現地校・国際校等に在籍した者は、中学校相当期間にかかる全ての成績証明書（学校長の公印または署名のあるもの）
- (3) 離日前に国内の中学校に在籍した者はその中学校の成績証明書
- (4) 帰国生調査票（受験生本人が記入）
- (5) 海外在留証明書（在留期間、在留地名を記載。所属機関代表者の公印が必要）

※ (1)・(4)・(5)は本校所定用紙

Q 現地で行ったボランティアや行事の表彰状のコピーは添付した方がよいのですか。

A コピーは参考にさせていただきますが、直接合否に関係することはありません。基本的に現地での活躍に関しては、面接時にお話をお聞きすることになります。

Q 現地校の場合、成績証明書は何学年のものが必要なのでしょうか。

A 日本の中学校相当の年齢の時期にかかるもの（満12歳の4月以降のもの）すべてを提出してください。

Q 成績証明書はコピーでもよいのでしょうか。

A コピーそのものは認めておりません。ただし、コピーに、原本と相違ないという出身校の証明があればかまいません。証明書が厳封されていて中身が確認できない場合はそのままご提出ください。

Q 帰国の際、成績証明書のオリジナルをひとつしか発行してもらえず、コピーに証明をもらうことも難しいのですが、どうしたらよいのでしょうか。

A その場合は、出願の前に、本校にその旨電話でご連絡ください。まずは、成績証明書のコピーを他の出願書類とともに提出していただき、後日、受験前にオリジナルを本校にお持ちいただいて、ご提出いただいたコピーが原本と相違ないか、その場で照合させていただきます。

Q 日本人学校の場合は、現地での成績証明書は必要でしょうか。

A 現地の学校から直接受験される場合は必要ですが、現在日本の中学校に通っていて、日本人学校での成績を受験書類に転記してくれる場合は、必要ありません。現在通われている日本の中学校にご確認ください。

Q 一般入試にも出願できるのでしょうか。

A 出願できます。先に行う帰国生入試に合格し、入学金を納付した場合、帰国生入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

Q 中学時代に、アメリカの親戚の家に滞在し近所の公立のミドルスクールに1年間通っていました。帰国生入試を受けられますか。

A 本校の帰国生入試の出願資格に、ご家族のお仕事の都合で海外に在住していた者、という条件があります。留学に相当するケースでは、帰国生入試を受験することができます。

Q 現在、海外の現地企業に採用され、勤務しています。息子の受験に際し、海外在留証明書の作成を依頼したところ、日本語のフォームには対応できない、とのことでした。

A 別紙に本校の海外在留証明書の各項目を英語で記載していただき、経営責任者のサインを頂いたうえで、所定の封筒に入れて送付してください。

一般入試

Q 入試科目・試験時間・配点を教えてください。

A 入試科目は国語・数学・英語の3教科です。試験時間は3教科それぞれ50分間、配点は各100点満点です。教科ごとに合格最低点が設けられています。

Q 問題の内容、出題の傾向などを教えてください。

A 数学をはじめ総じて問題量が多く、国語は中学校程度の古文を含み、英語は長い文章を読んで設問に答える形式の問題が多く出題されています。過去の問題に目を通し、実際に時間を計って解答し、問題の内容や傾向をよくつかんでおくとうよいと思います。

Q リスニングは含まれますか。その場合、時間と配点を教えてください。また、内容的には英検で何級くらいですか。

A リスニング試験を含みます。時間は約15分です。内容は放送原稿を高等部ウェブサイトで公開していますので、ご確認ください。リスニングの配点については公表していません。また、難易度は英検との比較はできません。

Q 調査書の成績は点数に加味されるのですか。

A 加味しています。国語・数学・英語の3教科の入試の得点に加え、他の教科に関しても中学校における成績を加味することにより、本校の多様な授業に総合的に対応できる能力を有しているかどうかの判断をいたします。その割合等は非公表です。

Q 欠席が多い場合は不利になるのでしょうか。

A 欠席・遅刻・早退の日数が多い場合は個別に審議します。欠席・遅刻・早退の日数の扱いについて特別な事情がある場合は、その理由を別紙にて（校長公印が必要）提出することができます。

Q 面接はありますか。

A ありません。

Q 1浪の場合、受験資格はありますか。

A 1浪までは認めています。出生年月日の範囲について、本誌27ページを確認してください。

Q 補欠の繰り上げ合格者の人数は毎年何人ぐらいなのでしょう。

A 補欠は、年によって、男女によっても異なります。